

平成30年度事業報告書

事業の概要

平成30年度（以下「今年度」という。）においては、一般法人法等の関連法案及び定款に遵守した会の運営に務めるとともに、定款に定めた目的及び事業を達成するため、当該年度事業計画の活動指針に沿って、教育・学術・文化の振興のための各種事業を滞りなく実施した。

計画していた各種事業について、平成10年の授賞制度改正以降、21回目を迎えた平成30年度アカデミア賞表彰事業は、会員から推薦のあった候補者について、選考委員会において慎重に選考を重ね、理事会の議を経て、文化・社会部門から1名、社会部門から1名、国際部門から1名、計3名の受賞者を決定した。授賞式は、多くの会員の協賛のもとに盛大にかつ好評裡に催された。この詳細については、本会HP及び会誌アカデミア№170 2019.2に掲載されている。

第7回となる「平成30年度アカデミア教育研究助成事業」は、会員のほか各都道府県及び政令指定都市の各教育委員会、並びに関係教育機関へ応募要項を送付するとともに、本会HPに掲載するなど広く周知を図ったが、応募件数が少なく、また応募のあった教育研究についても助成するに至らない内容だったため、今回は該当無しとした。

講演会等の開催については、恒例のアカデミア賞受賞者による記念講演及び沖縄支部主催の地区講演会の他、9月に2018年「有明海の再生に向けた東京シンポジウム」を開催した。シンポジウムでは多数の参加者を得て、活発な討論が取り交わされ、盛会かつ好評裡に終了した。この詳細については、本会HP及び会誌アカデミア№168 2018.10に掲載されている。

昭和21年創刊の機関誌「会誌アカデミア」は、2012年以降環境に関連する課題を取り上げ、今年度もさらなる充実を図るとともに、多くの関係者の協力を得て滞りなく5回刊行し、会員及び関係機関等に配付した。

主な事業

1. 教育・学術・文化の振興のための顕彰及び助成

1) 文化・社会及び国際交流に著しく貢献した人材に対するアカデミア賞の授与

平成31年2月8日（金）京都・新都ホテルにおいて、平成30年度アカデミア賞授賞式を挙行し、次の各氏に対しいアカデミア賞を授与した。

【文化・社会部門】

内藤 正明氏：滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 長、京都大学名誉教授

受賞理由：我が国の環境問題の先駆者として、その高い先見性、卓越した実践性をもって、環境問題解決の指導的役割を果たし、持続可能な社会の実現に寄与した功績。

【社会部門】

野中ともよ氏：NPO 法人 ガイア・イニシアティブ代表

受賞対象：地球環境問題の解決に向け、その高い先見性、卓越した実践性をもって、「ガイア理論」の普及とその目指す世界の実現に寄与した功績。

【国際部門】

中根 史郎氏：造園家、株式会社 中根庭園研究所 代表取締役所長

受賞理由：日本庭園作庭の第一人者として、世界各国における日本庭園の作庭、及び日本庭園文化に関する世界各地での数多くの講演や指導を通じ、我が国の伝統美及び伝統技能の伝承・普及に寄与した功績。

2. 教育・学術及び文化に関する講演会及びセミナー等の開催

1) 本部主催講演会等

①2018年「有明海の再生に向けた東京シンポジウム」

開催日時：平成30年9月29日（土）10時30分～17時30分

開催場所：東京大学農学部フードサイエンス棟中島ホール

I 趣旨説明「東京で有明海再生の道を考える」

地球システム・倫理学会理事、舞根森里海研究所所長 田中 克

II 講演

講演1：地球システム倫理としての有明海問題

「クストーの思想に学ぶ」 地球システム・倫理学会会長顧問 服部 英二

「自然と共生する技術とは何かー有明海の再生に向けて」

地球システム・倫理学会副会長、星槎大学共生科学部教授 鬼頭 秀一

講演2：有明海の環境と生き物の多様性

「有明海異変と環境変化ー諫早湾潮受け堤防設置との関連」

熊本県立大学環境共生学部教授 堤 裕昭

「稚魚研究から見た有明海の異変と未来

高知大学海洋生物研究教育施設教授 木下 泉

講演3：有明海で漁業と農業に生きる

「有明海を“宝の海”に戻したい」 佐賀県多良町漁師 平方 宣清

「干拓地で農業に生きる」 農業生産法人(株)マツオフーム代表 松尾 公春

講演4：有明海再生へ向けての展望

「我が国の海洋教育における将来のリーダー育成について

- 韓国順天湾干潟研修、環境保全からはじまる地域創生のあり方を学ぶ-

福岡県立伝習館高校教諭 木庭 慎治

熊本県立岱志高校教諭 松浦 弘

「ラムサール条約と森里川海プロジェクトから有明海再生を展望する」

環境省「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトチーム・副チーム長 鳥居 敏男

「森は海の恋人から有明海再生を展望する」

NPO 法人森は海の恋人理事長 畠山 重篤

Ⅲ 有明海の再生にむけた東京シンポジウムからの提言

2018年「有明海の再生に向けた東京シンポジウム」企画責任者 田中 克

Ⅳ 中尾勘悟氏 写真展「有明海と諫早湾の今昔」

②平成30年度アカデミア賞受賞記念講演

開催日時：平成31年2月8日（金）11時～12時30分

開催場所：新都ホテル「陽明殿」

○内藤 正明氏：滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 長、京都大学名誉教授

演題：「環境問題の解決に役立つ研究を目指して－“環境システム学”の提唱－」

○野中ともよ氏：NPO 法人 ガイア・イニシアティブ代表

演題：「再創『日本力』～ガイアの視点から～」

○中根 史郎氏：造園家、株式会社中根庭園研究所代表取締役所長

演題：「海外で庭を造る」

2) 支部事業

①沖縄支部 平成30年度夏季講演会

開催日時：平成30年8月11日（土）11時30分～12時

開催場所：ホテルロイヤルオリオン「旭の間」

○仲間 勇栄氏：琉球大学名誉教授

演題：「蔡温と林政八書の世界」

②沖縄支部創立25周年記念・平成31年新春講演会

開催日時：平成31年2月23日（土）12時30分～13時

開催場所：ホテルロイヤルオリオン「旭の間」

○湧上 民雄氏：医療法人真徳会 沖縄メディカル病院院長

演題：「長寿沖縄を取り戻すために－なぜ肥満はいけないのか－」

3. 機関誌の刊行

『会誌アカデミア』の発行

○No.166 2018.4 「人口構造の変化と都市計画」

「巻頭言：人口構造の変化と都市計画」

首都大学東京都市環境科学研究科都市政策科学域教授 饗庭 伸

「人口減少時代の人口尺度論」

一般財団法人日本開発構想研究所 代表理事 戸沼 幸市氏 インタビュー

(於：2018年1月31日 日本開発構想研究所)

「人口減少と都市計画」

首都大学東京都市環境科学研究科教授 饗庭 伸

「都市の人口構造の変化から未来を展望する」

一般社団法人政策人口研究所代表理事 藤井多希子

「開放系の地域と空間計画・試論」 東洋大学国際学部国際地域学科教授 山崎 義人

「生存圏と生活圏を起点とした人口減少時代の計画理論」

千葉大学大学院融合理工学府地球環境科学専攻准教授 豊川 斉赫

○No.167 2018.7 「琵琶湖の自然と文化から未来を拓く」

「巻頭言：琵琶湖での原体験から一琵琶湖特集にあたって」

京都大学名誉教授・舞根森里海研究所所長 田中 克

「森・里・湖のつながりを再生する環境自治と琵琶湖の未来」

前滋賀県知事・元日本環境社会学会会長 嘉田由紀子

「琵琶湖の魚類の現状と再生への道」 びわ湖の森の生き物研究会事務局長 藤岡 康弘

「シーカヤックで琵琶湖岸を巡り、湖国の未来を想う」 海洋冒険家 八幡 暁

リアルニュージーランド代表 藤井 巖

京都大学名誉教授 田中 克

「ローカルサミットから描く東近江と琵琶湖の未来」

一般社団法人低炭素社会促進協会代表理事 吉澤 保幸

「琵琶湖から地球まで一人と自然の共生は可能か」

滋賀県立琵琶湖環境科学研究センター長・京都大学名誉教授 内藤 正明

○No.168 2018.10 2018年「有明海の再生に向けた東京シンポジウム」

I 趣旨説明「東京で有明海再生の道を考える」

地球システム・倫理学会理事、舞根森里海研究所所長 田中 克

II 講演1：地球システム倫理としての有明海問題

「クストーの思想に学ぶ」 地球システム・倫理学会会長顧問 服部 英二

「自然と共生する技術とは何かー有明海の再生に向けて」

地球システム・倫理学会副会長、星槎大学共生科学部教授 鬼頭 秀一

講演2：有明海の環境と生き物の多様性

「有明海異変と環境変化ー諫早湾潮受け堤防設置との関連」

熊本県立大学環境共生学部教授 堤 裕昭

「稚魚研究から見た有明海の異変と未来」

高知大学海洋生物研究教育施設教授 木下 泉

講演3：有明海で漁業と農業に生きる

「有明海を“宝の海”に戻したい」 佐賀県多良町漁師 平方 宣清

「干拓地で農業に生きる」 農業生産法人(株)マツオフーム代表 松尾 公春

講演4：有明海再生へ向けての展望

「韓国順天湾干潟の再生・保全から有明海再生を展望する」

福岡県立伝習館高校教諭 木庭 慎治

熊本県立岱志高校教諭 松浦 弘

「ラムサール条約と森里川海プロジェクトから有明海再生を展望する」

環境省「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトチーム・副チーム長 鳥居 敏男

「森は海の恋人から有明海再生を展望する」

NPO 法人森は海の恋人理事長 畠山 重篤

III 有明海の再生にむけた東京シンポジウムからの提言

2018年「有明海の再生に向けた東京シンポジウム」企画責任者 田中 克

IV 中尾勘悟氏写真展「有明海と諫早湾の今昔」

○No.169 2018.12 「森里海をつなぐ三陸の震災復興」

問題提起 「東北の奥深さと復興の浅薄な現実学ぶ」

京都大学名誉教授・舞根森里海研究所所長 田中 克

「気仙川・広田湾から学ぶ陸上・海洋生態系の基本データと総理解の重要性」

一般社団法人生態系総合研究所代表理事・東京財団政策研究所上席研究員 小松 正之

「気仙沼舞根湾に潜り続けてー水中から見る復興ー」

京都大学フィールド科学教育研究センター舞鶴水産実験所准教授 益田 玲爾

「防潮堤計画と市民活動～気仙沼市民と大谷地区住民の動き～」

一般社団法人プロジェクトリアス代表理事・気仙沼市議会議員 三浦 友幸

「岩手県大槌町の東日本大震災津波からの教育復興の実践 - 小中一貫教育とコミュニティ・スクールの推進をとおして -」

大槌町立大槌学園学园长 松橋 文明

【写真集】 三陸沿岸に張り巡らされた巨大防潮堤は語る

首都大学東京教授 横山 勝英

○No.170 2019.2 「平成 30 年度アカデミア賞」

- ・平成 30 年度アカデミア賞受賞者業績概要
- ・アカデミア賞受賞者記念講演
- ・アカデミア賞授賞式・祝賀懇親会

4. その他の事業

「理事会・定時社員総会開催」

①第 1 回理事会報告

日時：平成 30 年 6 月 13 日（金）午後 2 時～2 時 30 分

場所：新都ホテル「八坂の間」

- 議事：1. 平成 29 年度事業報告の件
2. 平成 29 年度決算の件
3. 平成 29 年度公益目的支出計画実施報告書の件
4. 名誉会長選任の件

②定時社員総会

日時：平成 30 年 6 月 29 日（金）午後 2 時 30 分～3 時 30 分

場所：新都ホテル「八坂の間」

- 議事：1. 平成 29 年度事業報告の件
2. 平成 29 年度収支決算の件
3. 平成 29 年度公益目的支出計画実施報告書の件
4. 平成 30 年度事業計画の件
5. 平成 30 年度収支予算の件
6. 会長交代の件

③第2回理事会

日時：平成30年11月16日（金）午後2時～3時

場所：新都ホテル「桂の間」

- 議事：1. 2018年度アカデミア賞選考の件
2. 2018年度アカデミア教育研究助成選考の件

④第3回理事会

日時：平成31年3月29日（金）午後2時～4時

場所：新都ホテル「宇治の間」

- 議事：1. 平成30年度事業報告の件
2. 平成30年度収支決算報告の件
3. 2019年度事業計画の件
4. 2019年度収支予算の件
5. 2019年度定時社員総会開催の件
6. 2019年度アカデミア賞選考委員会設置の件
7. 役員（理事・監事）任期満了に伴う改選の件
8. 2018年度業務執行理事（会長・専務理事）職務執行状況報告の件